

「ひとしぼり」ってやってます？の巻

ごみまるです。

みなさんは「ひとしぼり」ってやってます？

ぼくのお伝えしたい「ひとしぼり」とは、「生ごみを捨てる前には、ひとしぼりして水気を切りましょう」という意味です。

ぼくの住まう川口市は生ごみを「一般ごみ」として週に2回収集し、焼却処分しています。

ご家庭ごとの生ごみは、きっとそれほどの量ではありませんが、これが川口市全域で集まると相当な量となります。

例えば、乾いた紙1枚と濡れた紙1枚を燃やすとすると、どちらが燃え尽きるまで時間がかかるでしょうか？

当然、濡れた紙の方が時間がかかりますね。燃え方の時間差についての実証実験は・・・いずれ挑戦してみたいと思います。

というわけでありまして、水気を含んだ生ごみを焼却するためには、より多くの火力、時間を要することとなります。

時間がかかるということは費用だけではなく、焼却施設へのダメージも大きくなるということです。

そこでみなさまにも是非お取り組みいただきたいのが、「ひとしぼり」です。

先ほども申し上げたとおり、ご家庭ごとは少量であっても、全市的に見れば相当な量の水気が「ひとしぼり」によって切ることができるのではないのでしょうか。

ごみの減量、施設の延命にもつながる「ひとしぼり」、是非、みなさまもお取り組みください。

※「ひとしぼり」以外に水気を切る方法として、「コンポスト」という手法がございます。「コンポスト」については、また改めてお話しさせていただければと

存じます。

**【ごみまる放談について】**

「ごみまる放談」は環境問題への興味、関心を持っていただくための導入部分として作成いたしました。

広い年齢層に気軽に読んでいただくことに主眼を置いたため、話し言葉や多少ふざけた表現が含まれております。

不明瞭、不適切などのお気づきの点がございましたら、川口市環境部資源循環課減量推進係（電話048-228-5370）までご指摘いただければ幸いです。